

あくていぶ



ラピスの泉 (阪急高槻市駅前)

切り絵 作：生地 高芳 (高槻市在住)

特集

いま 子どもたちは…

～見えにくい子どもの貧困と居場所～

いま子どもたちは… ～見えにくい子どもの貧困と居場所～

平成24(2012)年の日本の子どもの貧困率は16.3%(6人に1人)という状況。

子どもの貧困というと「金銭的な貧しさ」というイメージだが、「金銭的な貧しさ」から派生する「生活、学習面等において困った状態に追いやられている」のが実態です。その課題に直視し、問題意識を持ち、支援活動を行っている「大阪子どもの貧困アクショングループ」と「山科醍醐こどものひろば」を紹介。

*貧困率(家庭の所得がその国の標準的所得の半分以下になる世帯の割合)。ユニセフ(国連児童基金)の報告でも、日本は先進35ヶ国中9番目に高い水準。

親丸ごとサポート シーバオ いくのCPAO食堂 大阪市生野区

子どもは無料!
ごはんと一緒に
つくって食べよう!

シングルマザーからのSOSを目の当たりにして“親丸ごとサポート”として地域で、「いくのCPAO食堂」を月に1度オープン。親子に「実家のような居場所を地域につくろう」と支援。



メニューはその時期にいただいた食材にあわせて献立をつくる。ちなみに6月17日のメニューは肉じゃが、きゅうりの浅漬け風サラダ、じゃがいものお焼き、豆腐と岩のりのお吸い物、牛乳ゼリー(20人分)。手間を惜しまず下ごしらえした料理の味のほうは…それは、子どもたちのお代わりの量、満足気な笑顔で実感! 参加されたお母さんたちは「八方塞がりになっていた私に、話せる場を作ってもらった」と気持ちをほぐすことができるひとときとなっている。



「大阪子どもの貧困アクショングループ」
こども 貧困 行動 大阪 シーバオ
Child Poverty Action Osaka=CPAO

代表 徳丸 ゆき子さん

「シングルマザーたち100人がしんどい状況について話しました」という報告書(2013年7月～2014年12月)を発行された。

経済的に困難な状態にあるシングルマザーの状況を明らかにすることにより政策提言の活動につなげるため。

この報告書は、シングルマザーの生育歴、現在の暮らしぶりなどを聞き取り調査したもので、その内の10人の声をまとめたもの。作成するにあたり、どう伝え、発信するのか迷ったが、彼女らの生きる現実をまず知ってもらうこと…。

そこには仕事、病気、暴力、離婚などが絡み合い、母子の窮状が浮き彫りにされている。



聖ヨハネ学園

「子どもたちに あなたの力を」

宮之川原にある児童養護施設聖ヨハネ学園は、様々な事情で家族と離れて生活する2歳から18歳までの子どもたちが暮らしています。学園では愛の精神(受容すること)、たくさん思いづくり、心身の成長を支える食事提供を3本の柱に職員と子どもたちが日々の生活を共にし、自立にむけた支援を行っています。子どもたちの支援には、近隣地域、諸団体他の多くのみなさんから学習支援・絵本読み聞かせ・散髪・ピアノ等、いろいろな応援をいただいています。子どもたちが多くのみなさんとの関わりの中からたくましく育っていくことを願っています。11月23日には恒例の「よはね丘のまつり」では、学園を応援していただけるみなさんのお手伝いを広く募っています。是非ご協力をお願いします。



▲各事業所や他施設様からテント等を借用し少しずつ会場の設営準備をしていきます



▲学園の各出入口に大看板を設置します! 手作りポスターも貼り付けて盛り上げます!

高槻市宮之川原2-9-1 ☎072-687-0541

特定非営利活動法人

山科醍醐こどものひろば 京都市山科区



主な7つの事業

- 舞台芸術鑑賞活動事業
- 子どもが自ら創る体験活動事業
- こどもの居場所提供事業
- 子育てサポート事業
- ボランティアサポート事業
- ネットワークづくり事業
- 広報出版事業

～地域のすべての子どもが心豊かに～

「山科醍醐こどものひろば」では地域に住むすべての子どもたちが心豊かに育つことをめざし、地域の社会環境、文化環境がより良くなる事を大きな目的に活動している。子どもと大人が一体となっても

のごとに真剣に向き合うことで“共に育ちあいたい”という願いを持っている。

ここでは、孤立する子どもたちの心を育てるふれあいを大切に、支援をしていることに着目、コーディネーターの梅原さんにお話をうかがった。

～見えにくい子どもの生活・学習の困難さ～

親は真剣に子どもと向き合っている。福祉の制度が入るケースでもない。学校が対応できる課題でもない。しかし誰かが見守る必要がある子どもたちを地域で支えることができるのではないかと、「子どもの貧困対策事業」を4年前に始めた。5年間でのべ70名の小中学生に活動を届けることができた。

し、学習支援（個別支援）を行ったり、また通学合宿を行い、規則正しい生活や家庭の雰囲気を経験してもらおうことにも取り組んでいる。

大学生サポーターが心がけていることは…

困った部分のみに目を向けるのではなく、マンツーマンだからこそわかるその子ども自身の持っている力を見つけ、伝えること。

～ひとり親家庭のこどもの居場所づくり～

「楽習サポートのびのび」では山科や醍醐地域に住むおもに小中学生を対象に大学生サポーターがマンツーマンで学習



支援を行ったり、夕食をともに過ごす。

大学生サポーターは活動後に1時間かけて振り返りをスタッフと行い、その日の子どもの様子などを話し合う。「自分に自信のない子どもたちは、ありのままを受け入れてくれる居場所を必要としている」のだとアドバイスを。活動で起こった悩みは、今後のサポート計画にもつなげていく。



いくつかの小中学校と連携して、放課後の居場所づくりとして、学校の空き教室を利用

～支援の必要な子どもを

探し出すことが大きな課題～

子どもがいる場所としての学校を中心とした関係機関との連携、このことを構築していくことが大切で、そこには受け入れ側に信頼される組織を形成することも求められている。

感じたこと

1 子どもの貧困は「貧しさ」だけではなく「困っていること」に意識を向け、地域の中で何ができるのかを考え、取り組むことが大切だとお話しいただいた。創意工夫された事業がいっぱい。壁に貼られた写真には楽しそうで安心した子どもたちの姿があった。「居場所があり、人とつながることができて、ほんとうに良かったね」と、つくづく思った。ここでお世話になった子どもたちが、将来やさしい豊かな心で頑張っている姿が目に見えた。

2 貧困からくる社会的問題をわたしたち子育ての一段落した地域のおばさんの目で若い母親や子どもたちに目を向け、少しでもかかわっていけるようにしていきたい。ひとりぼっちの淋しい子どもたちを作らないために声をかけていきたい。

第30回 平和展

「ぼくは戦争はきらいです」

8月7日(金)・8日(土)

9:00~17:00



講演会 「絆の大切さ」

～いのちはひとつにつながっている～



講師：佐久間レイさん(声優・劇作家)
佐田詠夢さん(ピアニスト)

講師は、助け合いや平和をテーマにした『それいけ!アンパンマン』のバタコさん役や『魔女の宅急便』のジジ役などの声優として知られている。『それいけ!アンパンマン』のやなせたかしさんから“一寸先は光”“人生は喜びごっこ”等々、彼独特の素晴らしい言葉をレイさんはいただき、その思いを伝えようと全国で講演活動を行っている。

一人ひとりが世界中のどこかに友人を1人持つと、その輪が次々と広がって、困った時は心配し合い、嬉しい時は喜びあえる平和な世界になってほしいと会場に語りかけた。

詠夢さんのやさしい中にも心に響く演奏が花を添え、自作の「一人語り」では、滋賀県高月町の観音様を通して失いかけていた自分を取り戻していく話に引き込まれ、時には涙をぬぐいながら聴き入った。

「高槻から平和の花を全国に広げよう」のメッセージと共に!



戦後70年の節目の年にあたり、高槻で、広島で、長崎で、そして日本の各地で「平和への誓い」が開催された。

被爆者の言葉の中に「この世の中に核兵器はいらない、戦争もいらない、ほしいのは平和です」と、魂の叫びを聴いた。私たち一人ひとりが重く受けとめ、次世代の人たちへ、この被爆者の叫びが風化しないよう、「戦争の悲惨さ」「平和の尊さ」を伝えていくことを確認した。

開会
セレモニー

「平和の願いをことばでつなぐ」



市民による平和メッセージ



非核平和都市宣言を朗読

特別
展示

やなせたかし「平和への思い」

「ぼくがアンパンマンの中で描こうとしたのは、分け与えることで飢えは無くせること。いやな相手とでも、一緒に暮らすことができるということ」「マンガだからできる」「人だから現実は無理だ」なんて言わずに若い人が真剣に考えてくれればうれしいと訴えていた。



ロビー
コンサート

「平和の願いを込めて」

高槻市出身クラシック歌手 松浦祥子さん

「青い空」「さとうきび畑」「無言館の明日」の三部作を熱唱。

戦没者画学生美術館「無言館」の戦場に散った若き画学生の作品の思い、日常生活の生きること、愛することを感じさせる歌声だった。

音楽祭

「愛・いのち・平和」



会場一体となって、
歌声が響きわたった

平和展参加者の声

・ 平和のありがたさを痛感
しています。絶対に風化
させてはいけない「命の
まなび」です。

・ かわいい話ばかりでなく、
とても聞きやすかった。

・ また、「生きる」「命」に
についても改めて向き合っ
ていきました。

・ もう少し小さい子どもに
も興味を引けるようなイ
ラスト・写真が多いともう
と良いと思います。



平和を祈る言葉を書いたピース(折り紙)で製作

平和展で展示された学童保育指導員の作品

人権研修

人道の港 敦賀ムゼウム

✿ ポーランドにあったアウシュビッツ強制収容所は、
1月27日に解放から70年を迎えた

エルサレムにある「ホロコースト記念館」で、本年1月19日安倍首相は、「このような悲劇は二度と繰り返させない」「差別と戦争のない世界、人権の守られる世界の実現に向け積極的に貢献する」と決意表明。

その記念館には、ナチスから逃れたユダヤ人の渡米等のために、日本通過ビザを発給した当時リトアニア領事官代理であった杉原千畝が「諸国民の中の正義の人」として顕彰されている。

✿ 東洋のシンドラーと呼ばれた外交官 杉原千畝



いのちの通貨ビザと杉原千畝

ナチスに追い詰められたポーランドのユダヤ人にとって唯一残された逃げ道は、シベリア鉄道を使い、日本に渡り第三国を目指すこと。昭和15(1940)年リトアニアの日本領事館に押しかけてきたユダヤ人に杉原千畝は、本国の許可を待たずして2,000枚余の通過ビザを発行し、これにより6,000人余りのユダヤ人を逃避させることができた。

*シンドラー(第二次大戦中、ナチスドイツより強制収容所に収容されていたユダヤ人のうち、自身の工場で雇用していた1,200人を虐殺から救った)

✿ 人道の港 敦賀ムゼウム

リトアニアからシベリア鉄道を經由して、ウラジオストックから命から



ムゼウムはポーランド語で資料館を意味します

〒914-0072
福井県敦賀市金ヶ崎町 44-1
TEL : 0770-37-1035
FAX : 0770-37-1036

から船で敦賀港に逃れてきたユダヤ人たちは敦賀の人たちは、「無料で銭湯に入浴させる」、「長い入国審査を終え近くの鉄道の駅に向かうユダヤ人に、少年がリンゴやミカンを渡す」、「身につけていた時計をお金に変換する」など温かく迎え入れ、今も「リンゴと時計の港が紡ぐ物語」として今も市民の間で語り継がれている。

命長らえたユダヤ人たちは敦賀から鉄道を使い、東京や神戸に行き、アメリカやオーストラリアなどに無事渡って行った。

また、1920年にはロシア革命のシベリアで家族を失ったポーランド孤児たちが日本赤十字の迅速な救済で敦賀港に到着し、帰国するまでのエピソードなどが展示されている。



敦賀港の風景
1902年から1941年にかけて、ヨーロッパとの交通の拠点だった国際港



当時の説明ビデオを見入る

6月25日(木)人権研修として訪問。高速自動車道で2時間と少し。この敦賀ムゼウムのある敦賀港は芝生がひろがり、とても気持ちがいい。すぐ横には旧敦賀港駅舎を再現した鉄道資料館があり、当時は(明治後期から昭和初期)敦賀港からウラジオストック、ロシアを經由して大陸ヨーロッパへと繋がる国際都市としてにぎわっていたらしい。その敦賀ムゼウムではガイドの方がわかりやすく説明してくれた。ビデオの映像を見ながら、当時の敦賀の人たちが、命がけて訪れた人たちを受け入れた様子を想像した。

～人権ワークショップを創造する～

こくう きかくしつ
穀雨企画室 代表 渡辺 毅さんをたずねて



<http://kokuukikakushitsu.jimdo.com/>



京都市内のフィールドワーク

人権という「～してはいけない」というような禁止の文言にとらわれがち。禁止は差別や偏見を乗り越えるために重く受け止めるべきものだが、一方、相手を敬して遠ざけるだけで、豊かな人間関係を新たに構築することを難しくする要素もはらんでいる…。

この文言に惹かれ、京都にある「穀雨企画室」渡辺毅さんを訪問した。

こくう きかくしつ ～穀雨企画室でどんなことをしているの～

「人と人との対等な関係性を捉え直し、つむぎ直すきっかけとなる」ことを大切に、クイズやゲーム、様々なものを取り入れ、人権課題を多方面から取り組むワークショップを実践中。

何に気付き、何を発見するか、他者を知ろうとするきっかけ、再発見するきっかけづくりのワークショップを構成しているという。

また京都市内のフィールドワークも実施し、観光客が訪れない場所や、外国からの観光客にも関心を向ける（特に言葉）など、幅広い視点でのフィールドワークを実施している。たとえば京都観光しながら、人権について学べるコース「東山」、「西陣」、「京都御苑」「東九条」を参加人数や、時間設定など応じながら企画している。

渡辺 毅さんからメッセージ

世の中には同和問題だとか障がい者問題だとか、さまざまな人権課題がありますが、人間が対等であることを見失うところから差別や偏見が生じる、という点は、あらゆる課題に共通していると思われます。ですから私は、課題別に人権課題を捉えることも意味はあるけれども、人権ワークショップにおいては「『切り口』から入る」

というスタイルを大切にしています。例えば「仕事」「言葉」「場所」などの切り口から入るアクティビティをつくり、その実践を通じて、いろんな課題に共通する、私たちの心の底にある「根」に気づき直す、ということをも特に重んじています。

訪問感想



- ・豊かな知識とユニークな発想にすんすん引き込まれ、時間のたつのも忘れていた。
- ・人権というかた苦しい課題を、これほどまでに噛み砕いて興味深くお話ししてくださった方に、過去に出会ったことがあったらだろうか？ 観光もちょっぴり取り入れての穀雨企画室の京都市内フィールドワーク、ぜひ参加したいなあ。
- ・楽しそうでわかりやすい切り口の講座には是非参加してみたいと思った。私のカタカタマにも、良薬を見つかることができるかも…。
- ・自分なりに人権や差別のことを勉強しながらはと考えている。まだまだ知らないこと、思い込み、まちがった情報などあることを知った。
- ・人権ワークショップ、フィールドワークを取り組んでいる渡辺さんは「人権はいかなる他者からも尊重され対等である関係…」と言われ、講演を聞く側に終わらず自ら参加し自分自身を発見することの大切さを知った。

人権講演会「心の豊かさを求めて」

からだを作るのがごはんなら こころを作るのは何だろう…？

- 講師**
- ・楽しく歌う♪ふうふ
 - ・ケチャップマヨネーズ？
 - ・サポートメンバー さと兄さん



自作の歌をデュオで



会場の大人も子どもたちも一緒に歌って、おどって

育児の楽しさを語るさと兄さん

平成27年6月6日(土)人権講演会「心の豊かさを求めて」が開催された。「ケチャマヨ？」の元気になる手作りの曲は、1曲ずつ大きな絵をスクリーンへ映し出して歌う演奏が特徴。聞くことはもちろん、目で見ても楽しめた。歌の間のトークもやさしく心惹かれるお話でほのぼのの気分を充電！

またサポートメンバーのさと兄さんの海外の珍しい楽器と音色に大人も子どもも興味津々！心の“ごはん”をごちそうさま！！

平成26年度 事業報告

「すべての人の人権が尊重され、心豊かで差別のないまちづくり」をめざし、市民の自主的な活動を基に、市と市民が協働して、それぞれの事業に取り組みました。

まず、新たな取組としまして、富田・春日ふれあい文化センターにおいて幅広い人権課題をテーマとした講演会やパネル展を企画・運営しました。また地域人権啓発事業では、人権啓発指導員の配置変更等を行い、各中学

校区単位会などの地域における人権啓発研修の充実につとめました。

おもな受託事業の平和展では講師に前広島市長の秋葉忠利さん、人権週間記念事業では須田慎一郎さん、人権講演会では桂福点さんをお迎えし多方面から人権を考える機会となりました。今後とも事業の充実を図ってまいります。

平成26年度(第6期) 一般社団法人高槻市人権まちづくり協会 決算公告

貸借対照表の要旨
平成27年3月31日現在

(単位 円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金及び預金	10,423,722	未払金	9,141,540
未収金	0	預り金	456,431
流動資産計	10,423,722	流動負債計	9,597,971
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1)基本財産	0	固定負債計	0
(2)特定資産	0	負債合計	9,597,971
(3)その他固定資産		III 正味財産	
車両	2	1. 指定正味財産	
什器備品	5	指定正味財産計	0
契約保証金	0	2. 一般正味財産	
その他固定資産計	7	一般正味財産期末残高	825,758
固定資産合計	7	一般正味財産計	825,758
資産合計	10,423,729	正味財産合計	825,758
		負債及び正味財産合計	10,423,729

注記1 固定資産(車両)の減価償却累計額は1,460,448円である。

注記2 固定資産(什器備品)の減価償却累計額は714,995円である。

正味財産増減計算書の要旨
平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位 円)

科目	金額	科目	金額
I 一般正味財産増減の部		2. 経常外増減の部	
1. 経常増減の部		(1)経常外収益	0
(1)経常収益		(2)経常外費用	0
①会費収入	99,000	当期経常外増減額	0
②寄付金収入	470,801	当期一般正味財産増減額	111,937
③市受取補助金収入	21,765,604	一般正味財産期首残高	713,821
④市受託事業収入	39,923,239	一般正味財産期末残高	825,758
⑤事業収入	463,060	II 指定正味財産増減の部	
⑥受取利息配当金収入	3,957	当期受取補助金増減額	21,765,604
⑦雑収入	4,187	当期協賛金収入増減額	450,000
経常収益計	62,729,848	当期増減額	0
(2)経常費用		III 正味財産期末残高	825,758
①人件費	48,251,003		
②事業費	9,622,728		
③事務費	4,744,179		
経常費用計	62,617,911		
当期経常増減額	111,937		

注記1 高槻市補助金精算前受取額は21,950,000円である。

注記2 高槻市人権啓発事業委託料精算前受取額は13,860,000円である。

注記3 高槻市人権教育啓発事業委託料精算前受取額は703,000円である。

注記4 富田ふれあい文化センター事業委託料精算前受取額は17,023,000円である。

注記5 春日ふれあい文化センター事業委託料精算前受取額は14,163,000円である。

あなたの関心がある講演… どの講座でもどうぞ!

人権連続講座 平成 27(2015)年

会場 クロスパル高槻(総合市民交流センター)
5F 視聴覚室

時間 午後2時～4時

**申込み
不要**

当日先着順
100名

手話通訳
要約筆記
あり

平成27年 **10月16日** 金

自分らしく生きる ～信じた道のその先に～

プロボクサー
第5代WBC女子
世界フライ級チャンピオン
真道 ゴーさん

みんな違いがある…
認めあいまえあって
生きようよ

平成27年 **10月9日** 金

認知症の向こう側にある心

～おじいちゃんから孫に
伝えてくれたもの～

和歌山県人権啓発センター登録講師
いのちの講演家
岩崎 順子さん

他人事てない
認知症

平成27年 **10月23日** 金

「障害者差別解消法」 ってなに?

世界人権問題研究センター
研究第5部専任研究員
松波 めぐみさん

生きにくい世の中
みんなてなくそう

平成27年 **10月30日** 金

新しい視点から 同和問題を考える

関西大学教授
石元 清英さん

新しい視点からの
同和問題って?

平成27年 **10月2日** 金

こどもたちとつくる 貧困とひとりぼっちの ないまち

特定非営利活動法人
山科醍醐こどものひろば
理事長 村井 琢哉さん

誰もがある日突然
貧困になるかも?

人権を考える市民のつどい

テーマ: **笑顔**
～人とのつながり
家族のカタチ～

講師: 落語家/大阪成蹊短期大学
客員教授
桂 春蝶さん

日時: 平成27年(2015) **12月12日** 土
午後1時半～4時

会場: 市生涯学習センター
2階多目的ホール

人権啓発作品を募集しています

- 募集作品/人権・平和に関する未発表のもの
 - 標語
 - 絵: 手書き(画用紙四つ切)または、パソコン(A2サイズ以下)
 - 作文: 400字詰め原稿用紙で小学生以下は3枚以内、中学生以上は5枚以内(読書感想文を含む)
- 応募資格/市内に居住又は通勤・通学・通園する人
- 募集期間/平成27(2015)年10月9日(金)必着
- 応募方法/作品名、連絡先、名前を記入の上、郵送または持参
〒569-0067高槻市桃園町1-1 エムビル201
一般社団法人 高槻市人権まちづくり協会
TEL. 072-674-7878 FAX. 072-674-7877
- 表彰
部門別に入選作品を選定し、12月12日(土)に開催する「人権を考える市民のつどい」にて表彰
12月11日～12日 市生涯学習センター展示ホールにて展示

表紙作品 作者紹介

私は高槻に移り住んで30年近くになります。各地を訪ね歩くと、様々な表情を持っている高槻の魅力に気がつき、切り絵で作ってみたいなあ楽しくて…気が付けば200を超える作品ができていました。

私の切り絵は、彫刻刀で1枚の紙を切り抜き(彫り抜き)裏から色の着いた和紙を貼り付けて作品に仕上げています。カッターナイフでは表現できない部分も、彫刻刀であれば細かく表現ができます。

これからも高槻の魅力切り絵で表現していこうと考えています。

高槻市城南町在住 生地 高芳

編集後記

先日、仲間と市内のコミュニティセンターで、独居高齢者80人に、未熟な「お笑い」を出前する機会があった。独居と言えど、明るく若々しく、あちこちで元気が飛び交い、逆にこちらがパワーを戴いた。仲間って効能のすぐれた「心の栄養剤」なのかも知れない。

人は独りが寂しいんじゃない。せつないのはどこにもつながりのない「孤立」。「ひとりでがんばらんでえねんで」と言ってくれる仲間や「居場所」さえあれば、寂しくなんてない。私には、いくつの「居場所」があるだろうか。今号は子どもから大人までの「居場所」についてふれてみた。

編集発行/一般社団法人 高槻市人権まちづくり協会 (☎674-7878)

「あくていぶ」は協会ブログからもご覧になれます。 [高槻市人権まちづくり協会](#) [検索](#)